

知っていますか 地域のオアシス 市民緑地

荒れていた里山などを手入れして、地域の憩いの場に変えたり、地域に新たな緑を創ったりするなど、市民の皆さんによる緑があふれるまちづくりが進められています。

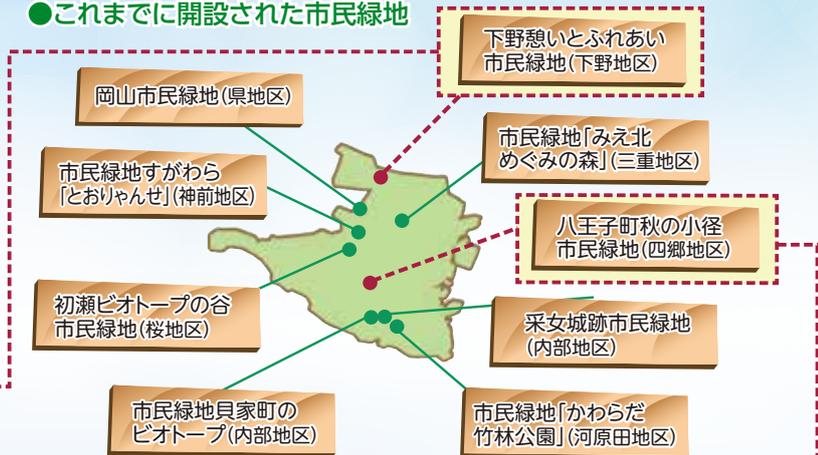
今回は、2つの市民緑地を取り上げ、管理団体で活躍しているお二人にお話を聞きました。

皆さんも身近な緑を守り育てる活動を始めてみませんか。

市民緑地制度

身近な民有緑地を地域の皆さんが自らの手で管理・整備し、市民の憩いの場として活用していただく制度です。市が所有者から土地を借り受け、地域団体などに維持管理と整備を委託しています。

●これまでに開設された市民緑地



下野地区里山整備委員会
会長 市川豊嗣さん

活動経緯を教えてください

もともと松林だったこの土地は、地域の方が、木を伐採してまきにしたり、松の葉を採ったりすることで、自然に整備

されていました。しかし、ガスの普及によって、林に人の出入りがなくなり、土地が荒れてしまいました。そこで立ち上がったのが、下野地区里山整備委員会です。私は、平成22年の発足当時から会長をしています。

今後この市民緑地がどうなってほしいですか

自然を残しながら、もっと人が交流できる場所にしていきたいと思っています。

地域の皆さんに伝えたいことは

この市民緑地では、皆さんが休めるベンチを作ったり、楽しいイベントを開いたりしたいと思っていますが、会員の高齢化で難しくなっているのが現状です。

ぜひ、この活動を知っていただき、ご協力をお願いします。



毎年恒例のイベント
「たけのこホリホリ下野っ子」

ボランティア八王子について教えてください



ボランティア八王子
会員 長田 紘一さん

15年ほど前に、挨拶運動など地域のさまざまな活動を行う団体として発足しました。その4年後に、いろいろな年代の人が「秋の小径」とともに散

策や休憩できる場所として、市民緑地の整備を始めました。現在は、会員数30人ほどで市民緑地の維持管理などの活動をしています。

この場所の魅力はなんですか

秋になると、「秋の小径」沿いのモミジが紅葉し、近隣の方がたくさん散策に訪れます。真っ赤に染まった「秋の小径」は見ものです。



秋の小径

地域の皆さんに伝えたいことは

最近、会員の高齢化に伴い、会員も減ってきており、活動も縮小しています。今後の市民緑地の維持管理やイベントの開催には、若いパワーが必要だと感じています。地域の皆さんで、故郷を支えていきましょう。